

## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月4日

上場会社名 ヤマウホールディングス株式会社 上場取引所 東  
コード番号 5284 URL <https://www.yamau-holdings.co.jp/>  
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 有田 徹也  
問合せ先責任者(役職名) 経営管理部長 (氏名) 倉智 清敬 (TEL) 092 (872) 3301  
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無 ( )

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	4,059	21.8	339	—	375	881.1	249	820.1
2023年3月期第1四半期	3,332	△17.6	△40	—	38	△89.8	27	△88.5

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 310百万円(645.8%) 2023年3月期第1四半期 41百万円(△82.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	40.73	—
2023年3月期第1四半期	4.43	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	21,172	9,041	42.3
2023年3月期	22,137	9,148	40.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 8,950百万円 2023年3月期 9,045百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	65.00	65.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	68.00	68.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2024年3月期第1四半期末配当金の内訳 記念配当 一円一銭 特別配当 一円一銭

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,000	10.0	400	90.5	420	47.9	270	83.7	44.13
通期	20,000	8.1	2,120	6.2	2,150	2.1	1,370	3.5	223.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) 、除外 1社(社名) 株式会社ヤマウトラスト

2023年4月1日付で、株式会社ヤマウを存続会社とする吸収合併方式により、株式会社ヤマウと株式会社ヤマウトラストが合併いたしました。これにより連結子会社株式会社ヤマウトラストは、連結範囲から除外しております。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	6,306,000株	2023年3月期	6,306,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	187,113株	2023年3月期	187,113株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	6,118,887株	2023年3月期1Q	6,118,894株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類感染症に分類されたことに伴い、景気は回復傾向で推移しております。一方、原材料・エネルギー価格の高騰は続いており、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの主要市場である九州の経済については、国が進める防災・減災、国土強靱化のための予算が配分される一方で、中・長期的には公共投資の縮減により漸減する方向であることが予想されます。また、足元では先行きが見通せない資材・原材料・エネルギー価格の高騰などもあり、予断を許さない状況が続いております。

このような経営環境下で当社グループでは、2021年4月から2024年3月までを計画期間とする「中期経営計画VI」を策定いたしました。中期経営計画VIでは、ヤマウグループが将来に亘って安定的な成長を続けるための経営・収益基盤のさらなる見直しと徹底的な強化の期間と位置付けると共に、持続的な成長を支え、加速するためのグループシナジー発揮の土台整備を推進してまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は40億59百万円（前年同四半期比21.8%増）、営業利益が3億39百万円（前年同四半期は営業損失40百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益が2億49百万円（前年同四半期比820.1%増）となりました。

当社グループの売上高は公共工事関連の比重が高いため季節的変動要因を有しております。

セグメントの経営成績を示すと次のとおりであります。

#### (コンクリート製品製造・販売事業)

コンクリート製品製造・販売事業の売上は、土木製品、景観製品、レジンコンクリート製品の販売によるものであります。

当第1四半期連結累計期間においては、公共投資が耐震、長寿命化、老朽化対策などの既存インフラの維持管理や防災・減災対策へシフトしていくなか、インフラ整備工事への対応や、高騰する資材・原材料等の販売価格への転嫁並びに製造原価及び一般管理費の削減等に取り組んで参りました。

その結果、当第1四半期連結累計期間においては、コンクリート製品製造・販売事業の業績は、製品が計画より前倒しで出荷出来たこと等により、売上高は、19億95百万円（前年同四半期比13.9%増）、セグメント利益（営業利益）は2億19百万円（前年同四半期比603.8%増）となりました。

#### (水門・堰の製造及び施工並びに保守事業)

水門・堰の製造及び施工並びに保守事業の売上は、水門、除塵機、水管橋等鋼構造物の製造、施工並びにそれらの保守によるものであります。

当第1四半期連結累計期間においては、水門・堰の製造及び施工並びに保守事業の売上高は、6億円（前年同四半期比7.7%減）となりました。利益面では、原価回収基準対応の期末越え（2023年3月末）案件が例年以上に多かったことにより、セグメント損失（営業損失）は、17百万円（前年同四半期は営業損失59百万円）となりました。

#### (地質調査・コンサルタント業務及び土木工事事業)

地質調査・コンサルタント業務及び土木工事事業の売上は、地質調査及び地すべり対策工事並びに測量・設計業務によるものであります。

当第1四半期連結累計期間においては、地質調査・コンサルタント業務及び土木工事事業の業績は、大口のJV土木工事が計画以上に前倒しで進捗したことにより、売上高は、5億9百万円（前年同四半期比83.9%増）、セグメント利益（営業利益）は50百万円（前年同四半期比383.8%増）となりました。

(橋梁、高架道路用伸縮装置の製造・販売・設置工事業)

橋梁、高架道路用伸縮装置の製造・販売・設置工事業の売上は、主に橋梁、高架道路用伸縮装置の製造・販売・設置工事によるものであります。

当第1四半期連結累計期間においては、高架道路用伸縮装置の製造・販売・設置工事業の業績は、受注増加や製品販売の特需により、売上高は7億97百万円（前年同四半期比49.8%増）、のれん償却後のセグメント利益（営業利益）は81百万円（前年同四半期は営業損失28百万円）となりました。

(コンクリート構造物の点検・調査、補修工事業)

コンクリート構造物の点検・調査、補修工事業の売上は、橋梁、トンネル等コンクリート構造物の点検・調査業務の請負、補修工事・補強設計業務の請負によるものであります。

当第1四半期連結累計期間においては、コンクリート構造物の点検・調査、補修工事業の売上高は、1億15百万円（前年同四半期比54.9%増）、セグメント損失（営業損失）は45百万円（前年同四半期は営業損失37百万円）となりました。

(情報機器の販売及び保守事業)

情報機器の販売及び保守事業の売上は、主に金融機関向け業務処理支援機器及びその周辺機器の販売並びにそれらの保守事業によるものであります。

当第1四半期連結累計期間においては、情報機器の販売及び保守事業の売上高は30百万円（前年同四半比15.4%減）、セグメント利益（営業利益）は2百万円（前年同四半期比22.9%増）となりました。

(不動産事業)

不動産事業の売上は、主に不動産の賃貸によるものであります。当第1四半期連結累計期間においては、不動産事業の売上高は69百万円（前年同四半期比0.2%減）、セグメント利益（営業利益）は39百万円（前年同四半期比1.6%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて6.7%減少し、139億5百万円となりました。これは、主として、現金及び預金が15億20百万円、商品及び製品が1億67百万円、仕掛品が44百万円、原材料及び貯蔵品が50百万円それぞれ増加し、受取手形、売掛金及び契約資産が27億47百万円、電子記録債権が1億84百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.5%増加し、72億66百万円となりました。これは主として、有形固定資産が24百万円、無形固定資産が39百万円それぞれ減少し、投資その他の資産が99百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて4.4%減少し、211億72百万円となりました。

### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて6.6%減少し、100億28百万円となりました。これは、主として、支払手形及び買掛金が5億28百万円、電子記録債務が1億44百万円、短期借入金が80百万円、未払法人税等が3億70百万円それぞれ減少し、その他流動負債が2億78百万円、賞与引当金が1億40百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて6.8%減少し、21億1百万円となりました。これは、主として長期借入金60百万円、その他固定負債が99百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて6.6%減少し、121億30百万円となりました。

### (純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて1.2%減少し、90億41百万円となりました。これは、主として利益剰余金が1億48百万円減少したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月10日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,809,515	5,329,789
受取手形、売掛金及び契約資産	7,511,369	4,763,832
電子記録債権	868,126	683,410
商品及び製品	1,611,828	1,779,817
仕掛品	241,791	286,722
原材料及び貯蔵品	552,486	603,275
その他	320,806	469,543
貸倒引当金	△9,380	△10,462
流動資産合計	14,906,543	13,905,930
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,450,992	2,450,992
その他（純額）	2,554,919	2,529,993
有形固定資産合計	5,005,912	4,980,986
無形固定資産		
のれん	626,248	603,882
顧客関連資産	438,000	419,750
その他	51,564	52,803
無形固定資産合計	1,115,813	1,076,436
投資その他の資産		
投資有価証券	526,050	604,790
その他	700,218	720,607
貸倒引当金	△116,591	△116,582
投資その他の資産合計	1,109,678	1,208,815
固定資産合計	7,231,404	7,266,237
資産合計	22,137,948	21,172,167
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,386,467	2,858,110
電子記録債務	1,642,057	1,497,331
短期借入金	3,255,209	3,175,209
未払法人税等	527,486	156,824
賞与引当金	348,296	488,714
その他	1,573,859	1,852,549
流動負債合計	10,733,376	10,028,739
固定負債		
長期借入金	1,467,048	1,406,991
退職給付に係る負債	144,363	150,014
その他	644,330	544,434
固定負債合計	2,255,741	2,101,439
負債合計	12,989,118	12,130,178

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	800,000	800,000
資本剰余金	755,477	755,477
利益剰余金	7,347,186	7,198,668
自己株式	△2,598	△2,598
株主資本合計	8,900,064	8,751,546
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	187,151	242,188
退職給付に係る調整累計額	△41,773	△43,316
その他の包括利益累計額合計	145,378	198,871
非支配株主持分	103,387	91,570
純資産合計	9,148,829	9,041,989
負債純資産合計	22,137,948	21,172,167



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	3,332,065	4,059,595
売上原価	2,172,945	2,535,463
売上総利益	1,159,119	1,524,131
販売費及び一般管理費	1,199,218	1,184,851
営業利益又は営業損失(△)	△40,098	339,280
営業外収益		
受取利息	100	100
受取配当金	7,820	12,043
鉄屑処分収入	16,830	6,510
利用分量配当金	18,215	22,758
貸倒引当金戻入額	4,091	—
保険解約返戻金	38,932	—
その他	12,010	10,295
営業外収益合計	98,002	51,708
営業外費用		
支払利息	13,930	11,724
その他	5,671	3,477
営業外費用合計	19,601	15,202
経常利益	38,301	375,787
特別利益		
投資有価証券売却益	272	—
特別利益合計	272	—
税金等調整前四半期純利益	38,574	375,787
法人税、住民税及び事業税	69,553	170,892
法人税等調整額	△63,612	△52,027
法人税等合計	5,940	118,865
四半期純利益	32,633	256,921
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,550	7,723
親会社株主に帰属する四半期純利益	27,083	249,198

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	32,633	256,921
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,878	55,036
退職給付に係る調整額	△3,892	△1,543
その他の包括利益合計	8,985	53,493
四半期包括利益	41,619	310,415
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	36,068	302,692
非支配株主に係る四半期包括利益	5,550	7,723

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。